

地域の実情と課題

【実情】

社会全体が男女平等であると感じている県民の割合は、男性が14.0%、女性が5.4%にとどまっている。また、性別によって役割を固定する考え方に反対する割合は、男性が62.8%であるのに対し、女性が73.3%と10ポイント以上上回る結果となっている。

【課題】

・長野県男女共同参画センターは、第5次長野県男女共同参画計画(女性活躍推進計画)を推進する中核的な存在として、県民のニーズを的確に捉え、様々な世代の県民に浸透する、時宜にかなった啓発・発信を行う必要がある。

事業の特徴

時間や場所に捉われない受講が可能となるよう、男女共同参画センターが実施する講座の多くをオンライン配信した。その一方で、講座参加者とコミュニケーションが取れるようニーズに合わせて一部の講座を対面により実施した。また、県民向けのイベントとして「”あいとぴあ”フォーラム」をオンラインにて開催し、男女共同参画社会づくりや女性活躍推進の機運を醸成した。

事業の効果

講座等をオンライン化することにより、時間や場所に捉われない受講が可能になるとともに、ニーズに応じた対面による講座の実施により、センターの普及・啓発機能の強化が図られた。

目的・目標

【目的】

県の男女共同参画社会づくりの総合拠点である男女共同参画センターが行う講座のオンライン配信等により、県民に浸透する啓発・発信を行う。

【目標】

講座受講者等の満足度84.5%(目標90%)
→講座のアンケート結果より、目標未達成となったものの、講座のテーマにより満足度に差があるため、結果を参考にし、満足度の高いテーマ設定に努める。

連携団体

○長野県女性活躍推進会議(17団体で構成)

長野県経営者協会、長野県中小企業団体中央会、長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、日本労働組合総連合会長野県連合会、長野県農業協同組合中央会、長野県森林組合連合会、長野県建設産業団体連合会、高等教育コンソーシアム信州、長野県私立短期大学協会、長野県男共同参画推進県民会議、長野県連合婦人会、長野県市長会、長野県町村会、長野県教育委員会、長野労働局、長野県

○長野県女性活躍推進会議傘下の企業・団体

○県内市町村

今後の課題

引き続き、講座等をオンラインにて実施するとともに、受講者アンケートで聞き取った声を反映させ、時宜にかなったテーマ設定を行うなどしながら、効果の高い講座等を実施する。

事業の概要

男女共同参画参画フォーラム

令和6年9月7日(土)

【テーマ】 誰ひとり取り残さない世界を ジェンダー平等がカギ

【講師】大沢 真理 氏

満足度は全体を
通して**8割**超！

＜開催方法＞

- ・オンライン(ZOOM)
- ・パブリックビューイング
- ・対面方式
- ・後日配信

[illegible]

”あいとぴあ”さんかくセミナー

日にち	テーマ	講師
令和6年6月15日(土)	ヤングケアラー物語	美齊津 康弘 氏
令和6年11月16日(土)	DV、デートDV、虐待等の根絶	阿部 真紀 氏

市町村共同開催事業

共同開催市町村	日にち	テーマ	講師
御代田町	令和6年7月6日(土)	フィンランドからのヒント	堀内 都喜子 氏
千曲市	令和6年8月24日(土)	アンコンシャスバイアス	坂爪 美奈子 氏
伊那市	令和6年9月21日(土)	災害時のトイレは命にかかわる	加藤 篤 氏

参加者からの声(一部)

- ・働き方改革や 職場環境の改善といっても、何をどうすればよいか実際に動けないことがあります。しかし、今回の講演でヒントをもらえたので、少しでもできることから実践してみようと思います。
- ・分かり易い資料、グラフ等で理解し易かったです。知らずに過ごしていた事ばかりで勉強になりました。